

スカンクのおならは、とても臭いというイメージがあります。ただしこの臭い、実は腸で発生したガスではなく、肛門腺の分泌液の臭いです。

肛門腺とは肛門付近にある左右一对の袋で、その中に強烈な臭いの分泌液をためています。

スカンクはこの肛門腺の分泌液を、敵に襲われたときの武器にします。悪臭によって敵がひるんだ隙に逃げるためです。その効果は1キロ先でも分かるほどだそうです。

犬猫にもスカンクと同じように肛門腺があり、分泌液をためています。目的は武器ではなく臭いづけのため。排便

あ
ん
し
ん
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ

91

スカンクと犬猫の共通点

時に肛門腺から分泌し、自分の縄張りを主張する役割があります。また、犬同士がお尻のあたりを嗅ぎ合うのは、肛門腺の臭いで個体を識別するためとされています。

ただし、小型犬や中型犬などは、自力で肛門腺の中身を排出できないことがあります。肥満やストレス、下痢や便秘などの体調不良、寒さや高齢によっても、分泌液がたまりやすくなります。

こうした場合は、人の手で絞り出す必要があります。放っておくと、肛門腺が化膿し

て炎症を起こしたり（肛門腺炎）、ひどいときには破裂してしまったり（肛門腺破裂）することもあります。

個体差はありますが、肛門腺を絞る目安は1カ月に1回程度です。お尻を床にひきずったり、気にしてなめていたりしたら要注意。動物病院やトリミングサロンなどで処置してもらいましょう。

動物に臭いはつきもの。特徴を理解し、うまく付き合っていけるといいですね。

（アニコム損保

獣医師 兵藤未来）